

生麦中だより

令和3年度(2021) 2月【10号】(2022年)

「互いを認め合い幸せをつくる」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

自分からの「挨拶」を実践していきましょう。

マスクを通して、その笑顔が伝わると素敵ですね。

生麦中学校 職員一同

言葉との出会い

校長 山口 毅

「希望はあなたを捨てません。

あなたが希望を捨てたのです。」

この言葉は、ラジオパーソナリティーを務めていた心理学者の加藤諦三さん（早稲田大学名誉教授）がレフォン人生相談で伝えていた言葉です。

何十年も前に聞いた言葉ですが、今でも心のどこかにある言葉です。ラジオで流れていたのだから、きっとこの言葉を知っている人は多いと思います。

この言葉は、確かにそうだと、素直に受け入れることができました。きっと、心にジンときて、響いたのだと思います。不安に押しつぶされそうなときでも、持ちこたえ、励みになる言葉だと思っています。

調べてみるとこの言葉は、「アメリカを代表する、最も影響力を持つ心理学者」の一人として名高いジョージ・ウェインバーグという臨床心理学者のものでした。

迷いや悩みは、様々なケースがあるので、ひとまとめには出来ませんが、心にすき間を感じたとき、そのすき間にピタリとはまる言葉と出会うと心や胸のつかえが軽くなると思っています。

10代の君たちには、どのような言葉がピタリとくるのでしょうか。友だちとの出会いと同じように、言葉にも出会いがあるように感じます。その時々どんな言葉と出会えるかによって、人生は味のあるものになっていくと感じています。

「ことわざ」との出会いも、支えになるかもしれません。

日本にもたくさんの「ことわざ」があるように、世界には、日常生活の真理や大切な教えなどを表したさまざまな「ことわざ」が存在します。

そんなことわざは、お国柄や文化的背景が表れやすいので、ことわざを知ることで、その国への理解が少し深まるか

もしれません。私たちの胸に響く言葉もたくさんあると思います。

私が好きなハワイのことわざで、

「No Rain, No Rainbow!」というのがあります。

(ノー レイン、ノー レインボー)

rain = 雨、rainbow = 虹

訳すと、「雨が降らなければ、虹は出ない」という意味です。「つらいことの後には、きっと良いことがある」という意味だと思えます。

アメリカの州にはニックネームがありますが、ハワイは「Rainbow State (レインボーステート)」、つまり虹の州。ハワイの車のナンバープレートにも虹が描かれていますが、ハワイでは本当によく虹が見られるので、素敵なニックネームをつけるものだと感心します。

高校生の時は、「No pain, no gain.」(ノーペイン、ノーゲイン) (痛みなくして得るものなし) という言葉を覚え、部活の辛さを自分なりに励ましていたことを思い出します。



感染症拡大で制限のある生活が長い間続いています。マスクも外すことができない生活が日常です。

3年生は、そのような中で進路に向けた取り組みをしていかななくてはならない状況です。1・2年生の学校生活においても自由で伸び伸びした行動ができない生活です。

だからこそ、あなたにピタリ合う言葉と出会えれば、素敵だと思うのです。心が敏感にならないと出会うことができないこともあるかもしれません。しかし、必ずあなたを支える言葉があると思います。

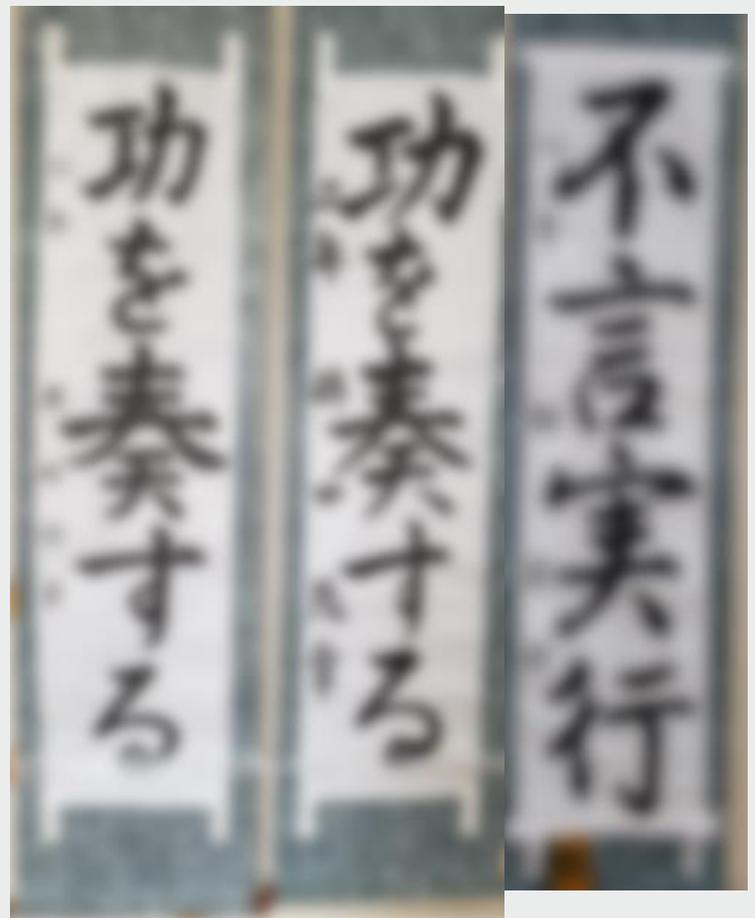
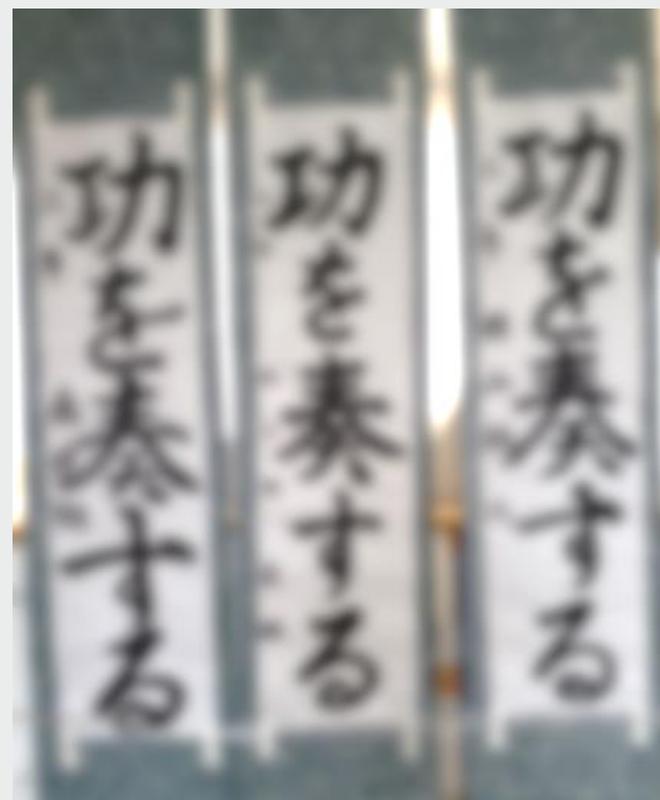
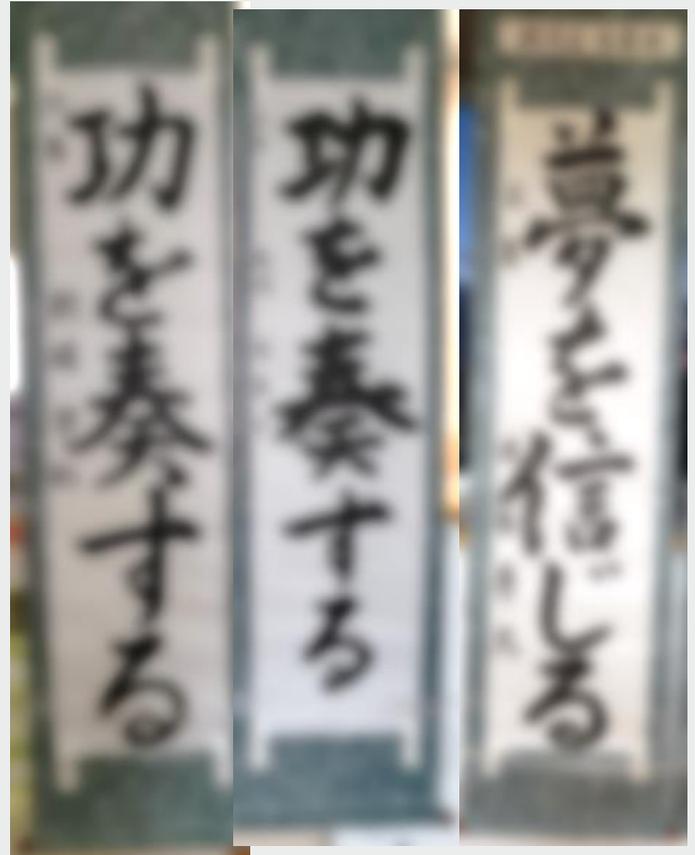
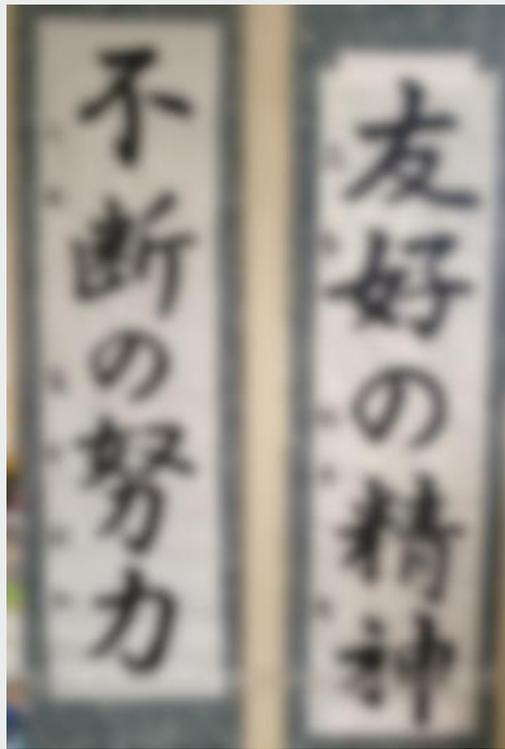
それがどんな言葉か楽しみにしてはどうでしょう。

書初め紹介

生麦中学校では、以下を目的として、校内書初め展を実施しています。

- 古典に親しむ態度を育て、日本の文化や伝統について関心を深める。
- 新年を迎え新たな決意を表現する。

各学年の金賞作品をご紹介します。

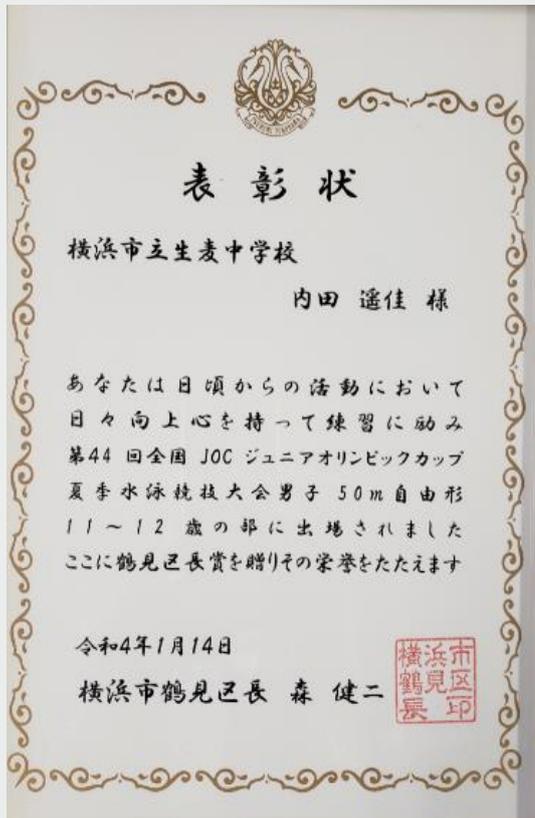


鶴見区 区長表彰

鶴見区では、区内に在住・在学している児童・生徒並びに主に児童・生徒により構成される区内の団体がスポーツ・文化の分野で顕著な功績又は優秀な成績を収めた際に、区長表彰を行っています。

(国際大会、国際コンクール等への出場・全国大会、全国コンクール等への出場・関東大会、関東コンクール等での3位以内の入賞・そのほか、スポーツ、文化の分野での特に顕著な功績)

今回、本校1年 内田遥佳さんが第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会男子50m自由形の部に出場し、区長表彰を受けました。おめでとうございます。



2年百人一首

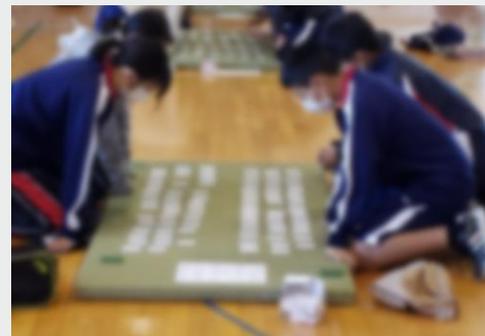
1月18日(火)2学年百人一首大会を開催しました。

本校では、①優れた和歌にふれることにより、日本の言葉の美を感じる。②伝統的な競技のおもしろさを味わい、生活を豊かにする。③学級で意欲的に取り組むことで、協力することを学び、学級の団結を固める。を目標として、状況把握力、主体性、実行力、規律性を身に付けさせることを目指しています。

感染対策を行いながらの実施でした。

入場時など手指のアルコール消毒を行い、マスク着用の上、無声での実施。また、窓を全面開けて、換気を行いながら行いました。

今年度の百人一首大会の保護者の参観はありませんでしたが、計画的に行うことができました。ご協力ありがとうございました。



◆令和3年度 就学援助制度について◆

お子さんを通学させるのに経済的な理由でお困りの方に対して、学用品費等を援助する制度があります。希望される方は申請書をお渡しいたしますので事務室までご連絡ください。(最終締切は令和4年2月末)

・認定基準は令和2年または令和3年の所得が下表の限度額以下の方

世帯人数	2人	3人	4人	5人	6人	7人
総収入(めやす)	368万円	434万円	485万円	550万円	608万円	678万円
総所得	250万円	303万円	344万円	396万円	442万円	500万円

8 組合同学芸会校内発表

1月20日(木)西公会堂で開催予定であった横浜市立中学校個別支援学級合同学芸会ですが、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止措置となりました。

そこで急遽、校内発表を計画し、個別支援学級保護者の皆さまをご招待し、感染対策衛生管理を施したうえで校内発表会を行いました。

【合同学芸会プログラムより：スローガン】



予定演目内容は、「演示：手話コーラス&ダブルダッチ」でした。20日(木)は、屋外テニスコートにおいて主に高度なダブルダッチ(2本のロープを使って飛ぶ縄跳び)演技を保護者の皆さまの前で披露しました。

中止連絡前の17日(月)6校時にも、職員参観による合同学芸会リハーサルを実施していました。

◆◆横浜市ホームページより◆◆ ↓

ダブルダッチはロープ回し手が左右半周ずらしてロープを回し、ジャンパーがいろいろな技を交えて跳ぶというスポーツです。手軽にできる反面、集中力、持久力、リズム感、創造力、バランスが必要です。8組の生徒の皆さんは、粘り強く練習しダブルダッチの中で更に縄跳びをする高度な演技も見せてくれました。

緊張した様子もありましたが、保護者の皆さまからの応援をいただき、温かく和やかな雰囲気の中で発表することができました。

8組の皆さん、素晴らしい演技をありがとうございました。また、発表会の司会進行も立派な態度でできました。

皆さんがとても輝いていたのが印象的です。指導して下さった担任の先生方ありがとうございました。

感染拡大防止措置のお願い

○健康観察の徹底

- ・御家庭でも、引き続きお子様の健康観察を行っていただき、体調不良(咳、喉の痛み、頭痛、発熱、腹痛、倦怠感等)が見られた場合は、登校を控えてください。
- ・ご家族全員の感染予防策の徹底やリスクの高い行動の回避をお願いします。

○手洗い、マスクの正しい着用、3密の回避、特に冬季であることを踏まえた換気といった基本的な感染予防対策の徹底をお願いします。

● 症状や感染の不安がある方へ

新型コロナウイルス感染症に関する検査は、症状の有無などにより、ご案内が異なります。次の内容をご確認いただき、ご自身の状況に合ったものをご利用ください。

